

令和3年度 みのわのぞみ保育園事業報告書

【施設運営状況】

- ・自然豊かな環境を活かし、園内外を問わず積極的に身体を動かし、個々の身体発達に合わせた十分な全身運動が行えるようにしました。おもちゃを増やし、環境構成は季節を問わず行ない、子どもたちが保育室内で密にならないよう常に工夫しました。
- ・保護者が解散したことから、保護者との連携をハグノート(アプリケーション)に徐々に移していくことで、保護者にも負担無く、お知らせや日々の活動を伝えたり、写真を見て楽しんでもらえる関係を築くことができました。
- ・新型コロナウイルス感染症により、夏8月に6日間と冬1月末に3日間休園となりました。保護者の方々からは、休園の不満よりも職員への労いの言葉を多くいただきました。また保護者参加行事には、感染対策を行った上で各クラス参加として行い、良好な保育運営ができました。
- ・幼児クラスは、クラスに合わせて、トウモロコシやそら豆などの皮むきを体験しました。クッキングの代わりとして、毎月のお楽しみ給食を調理と職員と共に行い、子どもたちに眼や心で楽しむ給食を提供していきました。ハグノートを利用してのメニュー紹介や、レシピの紹介なども行うことができました。
- ・ハグノートの導入に伴って職員間での話し合いや、伝え合いの連携をこまめに行うことができました。職種を超えて年齢を超えて尋ねたり、教えたりすることで、日々の連携にも繋がるようになっていきました。また主任・副主任を中心として、チームとしてのまとまりや、協力体制、日々の保育の疑問などに応える組織を作ることができました。
- ・キャリアアップ研修を充実させて、全職員が受講して資質向上に努められるようにしていきました。
また、園内研修や支援児を含めた保育に活かしてもらえるよう、保育座談会などの話し合いが活発になりました。
- ・地域子育て支援事業では、保育園見学、園庭解放を実施し、地域の方々に施設を利用して頂きました。
- ・箕輪町町内会と近隣保育園の連携で、話し合いを重ね、東急電鉄の土地を公園として使用できるようになりました。
年長児は近隣保育園の年長児と手紙のやりとりを行い、一緒に小学校へ行く気持ちをつなげました。
- ・幼保小の連携では、小学校と連絡を取り、引継を行ったり、保護者面談を行なうなどして不安を就学につなげました。

【職員の状況】

職名	令和3年4月1日の職員数					年間退任・就任								令和4年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)						
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員				計	正 規 職 員	有期契約職員			実 人 員 合 計	常 勤 換 算		
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B		就 任	退 任	契 約 職 員	非常勤A		非常勤B			契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			常 勤 換 算	
									就 任	退 任	就 任									退 任
園長	1				1								0	1					1	1
主任	1				1								0	1					1	1
保育士	10		1		11	1			1		1		3	8		3	1	3	12	11
栄養士	1				1								0	1					1	1
調理員	2				2								0	2					2	2
保育補助	0			3	3							1	1	0			2		2	1
調理補助	0				0								0	0					0	0
事務員	1				1								0	0			1		1	0
嘱託医	0	2			2								0	0	2				2	2
計	16	2	1	3	22	1			1		1	1	4	13	2	3	4	3	22	19

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

【利用者支援状況】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大やワクチン等で社会が揺れる中、こどもたちが自分で考えたりする力、友だちを思いやる力を育て、個々の心の育ちをしっかりと捉えた保育を充実していくことを職員一同で共通理解をし、保育をしてきました。1月には目的に対する評価反省を行い、気持ちを新たにしていきました。保護者の方へも伝えてきました。
- ・園内外において、人との関わりや自然のふれあいを大切に、季節が感じられるような場所へ散歩に行き、花々を見たり、自然物を集めて作品制作しました。特に年長児が制作に対して4月から一年を通して熱意あふれる作品を多く作ることで、年長同士の仲を深めたり、保護者にも楽しんでもらえる関係が作ることができました。
- ・目標に対して、子どもたちが自分の思いを言葉で伝えやすいよう、聞く時も伝える時も焦らずゆっくり対応するようにしました。また、年齢に応じて保育士が仲立ちをしたり、時にはこどもたち同士で考えて解決に導くことができるよう見守ることでこどもたちの成長も多く感じられました。
- ・年齢発達に合わせた様々な表現を楽しみ、活動の一環として運動会やおたのしみ会を行い、各行事の中でも、伝統行事に親しみ、遠足の際には家庭に協力をお願いして、園庭で全クラスがお弁当を楽しみました。
- ・季節の花や野菜作りを楽しみながら、子どもたちが栽培したり、収穫したり健康な心と身体を育てました。
- ・日々の給食の中では子どもたちに食材や栄養、行事の由来などを栄養士の手紙として知らせ、日々の献立の食材に興味や関心を持たせて食育に繋げていきました。
- ・季節の行事、音楽に合わせて身体を動かすリズム遊びを実施しました。年間を通して、園庭(戸外)での行事を工夫し、新しい行事を考えたりして日々の保育内容をより充実させました。
- ・食物アレルギー児へ個々に応じた対応を行いました。
- ・「気になる子」への対応については、保護者との信頼関係を築きながら、日々の様子や成長を伝え、子どもに対する共通理解を深められるよう取り組みました。
- ・支援児への配慮は、行政や専門機関と連携をとり、保護者の理解のもと積極的な関わりを行い、子育ての喜びを共感していきました。

【施設整備状況】

- ・イオンクラスター 購入
- ・子ども用防災ヘルメット 購入

【利用者状況推移】(各年度4月1日現在)

年度	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2年度	11	15	19	19	20	84
3年度	11	15	19	19	19	83

【主なできごと】

年間行事予定 別途添付

【その他について】

安全管理

- 防災関連 毎月1回 避難訓練、消火訓練を実施しました。
防災備蓄の充実を図り、期日を決め消費期限の管理をし、非常時の備えを行いました。
広域避難場所への移動を実施し、避難経路の確認をしながら今後の課題を見つける事が出来ました。
- 健康管理 園児は毎月の身体測定、年2回の嘱託医による健診、歯科検診、尿検査(幼児クラス)を実施しました。職員は年1回の定期健診及び毎月の細菌検査を実施しました。
健康管理には最善の注意を払い、感染症については早急にお知らせを出しました。
- 衛生管理 おもちゃの消毒や室内の清掃、感染症の流行時には消毒を徹底しました。
- 安全管理 毎月1回マニュアルシートを見て確認を行いました。

地域交流

園庭開放や保育園見学を早期から受け付けて、園庭にて行なっていました。

研修会実施状況

別途添付

事業苦情内容及び結果の公表

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
0件		